

【文法1】単語のいろいろ2 品詞

復習しよう

1 次の文の主語に――線、述語に――線を引きましょう。

① ロケットは宇宙へ行く。

② 私の父は医者です。

③ 庭のバラが本当に美しい。

④ 夜が明ける前の学校はとても静かだ。

2 次の文の――線部の修飾している文節を□で囲みましょう。

① 空に赤い月がうかんでいる。

② 大きな心を持った人になろう。

③ すっかり夜も明けた。

④ 地球上のあらゆる国に平和が必要だ。

ちよつと考えよう

単語は、

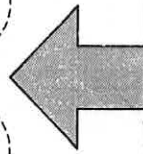
○それだけで文節になれるかどうか

○活用するかどうか

という二つの着目点で、大きく分類することができました。
ほかにはもう分け方はないでしょうか。

次の自立語を自分なりに仲間分けしてみましょう。

おいしい、つまようじ、刺す
熱い、ほかほか



分けた理由

自立語は文の中でどんな働きをするか（どんな文の成分になるか）によって、さらに細かく分けることができます。たとえば、次の空欄にはどんな自立語が入るでしょう。

が、この世界を支配している。

次の空欄ならどうでしょう。前と同じ自立語は入りますか。

ぼくの中学生生活は
楽しい。

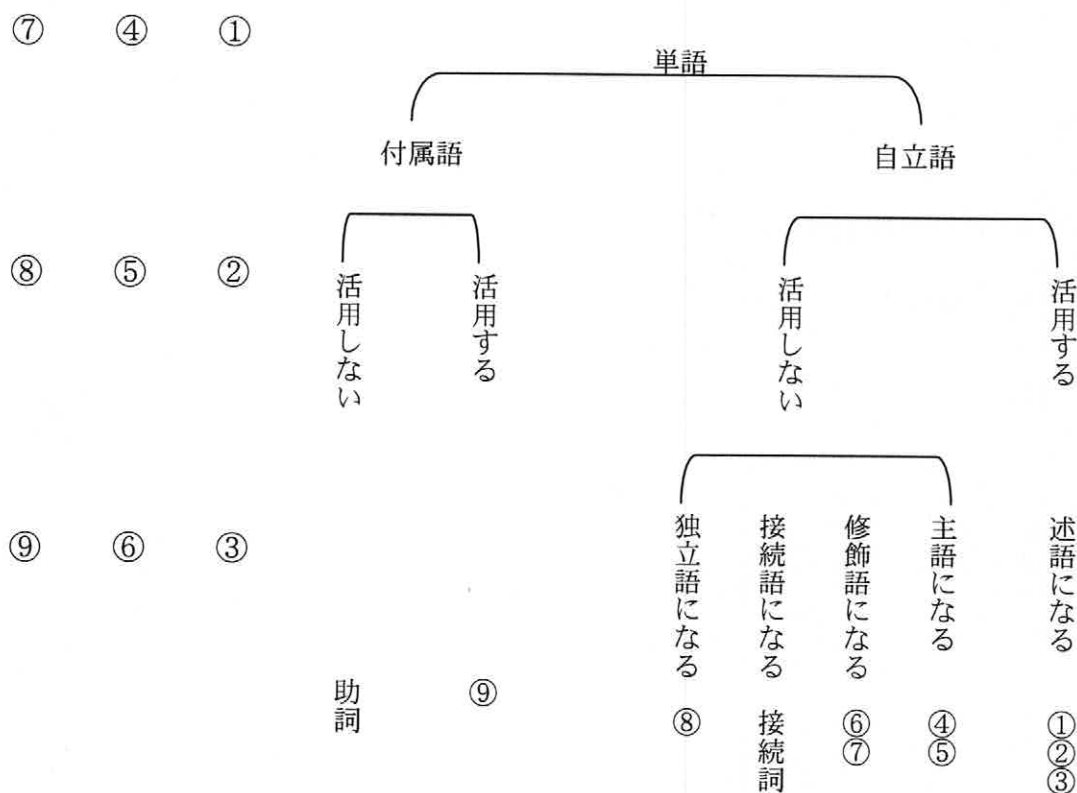
前の空欄には主語になれる自立語しか入れませんし、後の空欄には修飾語になれる自立語しか入れません。このように文中でどんな働きをするかという着目点でも単語は分類できます。

- I 自立語か付属語か
- II 活用するかしないか
- III 文中でどんな働きをするか

この三つの着目点で単語は十一の品詞に分類できます。

まとめよう

①～⑨にあてはまる品詞の名と用を書きましよう。



練習しよう

1 次の単語を動詞、形容詞、形容動詞に分けましょう。

【走る、涼しい、静かだ、速い、軽やかだ、高まる】

動詞・・・

形容詞・・・

形容動詞・・・

2 次の——線部の品詞名を動詞、形容詞、形容動詞から選びましょう。

① 返してこい。

() ()

② わたしを軽く見るな。

() ()

③ 濡れても平気なままだ。

() ()

ワンポイントアドバイス

★言い切りの形に直すとわかりやすいよ。

ウ段←動詞 い←形容詞 だ←形容動詞

3 次の文中の体言に——線をつけ、その横に名詞なら◎、代名詞なら○をつけましょう。

字のないはがきは、だれがどこに

しまったのか。

ワンポイントアドバイス

★名詞と代名詞をあわせて体言、動詞と形容詞と形容動詞をあわせて用言ということがあります。体言は主語になることができ、用言は述語になることができます。

4 次の——線部の品詞名を書きましょう。

① ああ、リンドウの花が咲いている。

() ()

② その水は虹のようにぎらつと光る。

() ()

③ ある山で雪男が観察された。

() ()

④ そして、僕はよみがえった。

() ()

発展問題

1 次の□の単語の言い切りの形を（ ）に書き、またその品詞名を後から選んで記号を「 」に書きましょう。

① 急い で 行っ てみると、 驚い た。

② まじめで ほがらかな 青年が よかろ う。

③ 風が 強かつ たので、 たいへんだっ たね。

④ 騒がしい ので、 のぞい てみる。

ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞

2 次の文の——線部の品詞と同じものを□から探

し、（ ）に書き入れましょう。

① ある山の中腹で、大きな松の木を見つけた。

② こうしてお祭りはすみました。それで、わたしは釈放されしました。

③ さあ、いつまでも寝てないで、早く起きなさい。

④ ずいぶんやせたな、見違えたよ。

⑤ わたしは友人からおかしなうわさを聞いた。

⑥ ちつともおもしろくなかった。

⑦ やつと宿題もすんだ。さて、遊びにでも行こう。

ア この イ ときどき ウ または エ はい

チャレンジ問題

1 次のそれぞれには一つだけ違った品詞の単語が入っています。それを○で囲みましょう。

① (おそい、美しい、きれい、優しい)

② (寝る、たたく、曲げる、たいこ)

③ (静かだ、犬だ、きれいだ、さわやかだ)

④ (あれ、ある、あっち、あそこ)

2 — 線部の名詞は「ア 人や国など固有の名前を表している」「イ 数を表している」「ウ 形式的な意味を表している」「エ それ以外のものの名前を表している」のうち、どれでしょうか。記号で答えましょう。

① 友達は宝物です。 ()

② 毛利家の三本の矢。 ()

③ 今年の中日のライバルは広島だ。 ()

④ 苦しいときは笑うんだ。 ()

ワンポイントアドバイス

★名詞は四種類に分けることができ、前の問題の「ア」を固有名詞、イを数詞、ウを形式名詞、エを普通名詞といえます。

3 — 線部の体言を ア 固有名詞、イ 数詞、ウ 形式名

詞、エ 普通名詞、オ 代名詞に分けましょう。

() () () () () ()

「邦子」あての手紙は一日に二通来ることもあり、一

() () () ()

学期の間かなりの数になった。私は輪ゴムで束ね、し

() ()

ばらく保存していたのだが、いつとはなしにどこかへい

ってしまった。

4 — 線部の単語を ア 副詞、イ 連体詞に分類
しましょう。

- | | | | |
|---|------------------|---|---|
| ① | あの赤い風船がよみがえる。 | (|) |
| ② | しっかりと助けてやってくれ。 | (|) |
| ③ | あらゆるケーキを食べ尽くす。 | (|) |
| ④ | 真っ白な腹がぎらつと光る。 | (|) |
| ⑤ | もうしかられるようなことはない。 | (|) |

5 例にならって、次の文に () 内の品詞を一語加えて
みましょう。

例 カメが走っているぞ。(感動詞)

←

ああ、カメが走っているぞ。

- | | |
|---|----------------------|
| ① | 僕の家には犬がいる。(形容詞) |
| ② | 彼は笑っている。(副詞) |
| ③ | 僕は彼女の家を訪ねたんだ。(接続詞) |
| ④ | わたしはきれいな山に行きたい。(連体詞) |
| ⑤ | 博士はアフリカで猿を見つけた。(動詞) |

ワンポイントアドバイス

★「その夜」のように体言を修飾する語を連体修飾語といい、「そつと引つ張る」のように用言を修飾する語を連用修飾語といいます。

★副詞は主に連用修飾語になり、連体詞はもっぱら連体修飾語になります。また、

アマゾン川には淡水にくらすエイがいる。

のように、動詞が修飾語になることもあります。